

舞踊作家協会 ティアラこうとう連続公演No.204

2019年5月1日(水) 開演18:00(開場17:30)

ティアラこうとう小ホール

一般¥3,000- 友の会¥2,700-(全席自由)

宮沢賢治の世界

芸術監督

玉田弘子・雑賀淑子

創る人

飯田晃一
佐藤小夜子
玉田弘子
大谷けい子
工藤史皓
花柳かしほ
三好直美

出演＝ 陽美 石川弘美 上村彩水
川上典子 桑原麻実
雑賀淑子 佐藤公哉(演奏)
古井慎也 水内宏之 水田真子
他

2019年度 今後の公演予定

2019

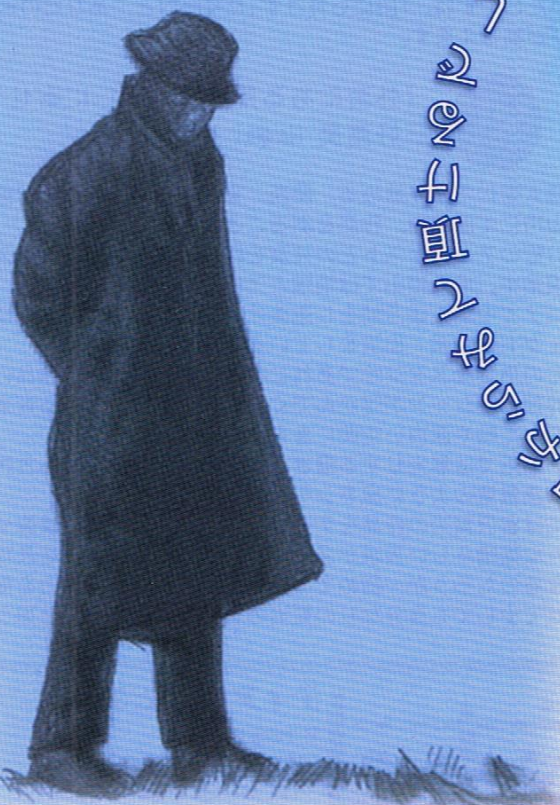
7月2日(火)	9月3日(火)	10月30日(水)
No.205	No.206	10月31日(木)
芸術監督	折田克子	No.207
山元美代子	花柳寿南海	25周年
	追悼公演	記念公演

2020

2月1日(土)	3月1日(日)
No.208	No.209
芸術監督	芸術監督
執行伸宜	真島恵理
	子供劇場

主催＝舞踊作家協会
共催＝公益財団法人江東区文化コミュニティ財団
スタッフ 照明＝関淳子 舞台監督＝嵯峨敏史

【チケットのお申込み・お問合わせ】
舞踊作家協会 TEL 03-3268-3183
FAX 03-3260-0871
ティアラこうとう TEL 03-5624-3333



作者の部屋

☆略歴 ☆振付を考えるとどんな場所？そしてどんなとき？ ☆賢治さんについてコメント



「序文そして雨ニモマケズ」
飯田晃一 Koichi Iida

- ☆1976年、東京都阿佐ヶ谷生まれ。舞踏家、日本語教師、替人社。大学卒業後、インドの聖地で舞踏に出会い、アスペスト館で元藤輝子に師事。舞踊作家協会の公演に参加は、芸術監督・江原朋子『動物現わる』に引き続き、今回で2回目となる。
- ☆誰もいない深夜の近くの小さな公園へ行く。冷えた空気の中、カラダをじっとみつめるように動いてみる。ただの動きがリズムを紡ぐときに振付が生まれる。
- ☆小学生の頃、岩手県を舞台にした剣道漫画『六三四の剣』が好きだった。ほとんどが戦いの漫画なのだが、主人公・六三四が教室で『春と修羅』を音読するシーンがあった。彼が読み上げているときに雪がはらはらと降り出すのだが、同時に、彼にもわからない涙が流れる。宮沢賢治とはそれから付き合い始めた。



「満ちるとは？」
玉田弘子 Hiroko Tamada

- ☆1946年四日市生、1950年～59年でダンス中断。1968年～現在まで、現代舞踊を奥田敏子、三条万里子に師事。1968年 立教大学社会学部 卒。
- ☆湯舟の中、朝方に夢うつつの時。
- ☆科学者、夢想家、(4合の玄米の食べすぎ!?)、結核にて早逝。



「屈折する心象幻原」
工藤史皓 Fumiaki Kudo

- ☆モダンダンス(ものごころついたら踊ってた) CGデザイナー(モーションキャプチャースペシャリスト)
- ☆電車、何処でも瞑想します。考えていない時に急に降りてくる振りが良かったりします。
- ☆誠意勉強中。



「9月〇〇日」
花柳かしほ Kashiho Hanayagi

- ☆「01ステージ」主宰。他分野のアーティストとのコラボレーションで、日本古来の舞踊テクニックを基に独自の空間を模索。花柳茂香に師事。
- ☆電車のつり革につかまっている時。運転中(ちょっと恐いかも?)
- ☆白昼夢と現実、生と死、大人と子供の間を自由に行き来し、自然の中の1部である人間を描き、宗教にも近い文学を書いたすばらしい人。



「夜空を眺める」
佐藤小夜子 Sayoko Sato

- ☆1979年 三田美代子のもとでダンスを学び踊りはじめる。1993年藤井公・利子に師事。名古屋と岐阜にてダンス教室を開講し後進の育成に励みながら、独自の表現を目指し創作活動を続けている。近年では、名古屋市東文化小劇場優秀舞台作品、あいちトリエンナーレ等で作品を上演している。佐藤小夜子 DANCE LABORATORY 主宰。
- ☆稽古場に入ると、メンバーが何気なくおしゃべりしたり動いたりしています。そこからアイデアが生まれてくることが多いです。
- ☆美しく、悲しく、ほのぼの、温かくてホラー?も含んだユーモア、人間的、自然的・・・宮沢賢治さんの生き方と作品に接するたびに、いつも心を揺さぶられます。



「モホイと貝の火」
大谷けい子 Keiko Otani

- ☆イサドラ・ダンカン・ダンス、中国舞踊を習得。ダンス・ネオ・シノワーズ主宰。多ジャンルの音楽とのコラボ作品を創作している。
- ☆テーマが決まっている時は、まず音楽を聴きまくり、眠っている時も音楽が頭の中を駆けめぐっているようになると、突然、踊っている姿が無い降りたりします。
- ☆賢治様 初めて出会ったのは、ファンタジックな童話の数々でしたが、実は人間の深淵をえぐるような詩を沢山のこされていたのですね。「雨にも負けず」を今読むと、あなたの魂の叫びが聞こえます。



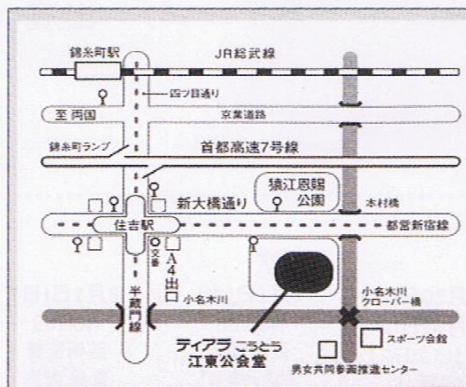
「外套にある荒野～Kenji に寄せて～」
三好直美 Naomi Miyoshi

- ☆愛媛県で踊り始める。関西、東京で研鑽後地元愛媛県松山市にて活動中。作品を創ることや即興で踊ること、異分野のアーティストとの共演を積み重ねて独自のダンスを模索中。地元松山では地域とアートを繋ぐアートNPOカocoaで中間支援活動をし道後オンセナート等で地元プロジェクトの企画・出演をしている。
- ☆自宅の小さなスタジオであれこれ試しながら創る。作品の世界観とかシーンが浮かんでくるのは、琴線に触れる音楽を聞いた時や面白い空間に身を置いた時。つい最近では黒光りする磨き上げられた床や柱のある古民家で座敷童のように座るシーンを創るとか。
- ☆世には宮沢賢治の作品をテーマにした芝居や朗読や映像や様々な素晴らしい表現が溢れている。私にその世界を表現できるのだろうか…初めての挑戦。果てしない想像力を働かせて少しでも自分なりの賢治の世界を表現したいと思う。

舞踊作家協会会員

尾上墨雪 関直人 雑賀淑子 西川扇蔵 片岡通人
新井雅子 江原朋子 渡辺元 真島恵理 安達哲治
ケイタクイ 加藤みや子 武元賀寿子 石黒節子
加藤さよ子 二見一幸 ユキスガマ 森嘉子
執行伸宜 平多実千子 高瀬多佳子 杉原ともじ
吾妻寛穂 米山ママコ 藤蔭静枝 萩谷京子 花柳面
大谷けい子 三好直美 石川須妹子 一色真由美
鈴木恵子 山元美代子 アキオキムラ 玉田弘子
花柳新一 さとうみどり 藤原悦子

舞踊作家協会 会長 新井雅子
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-20
TEL03-3268-3183/FAX03-3260-0871



ティアラこうとう

〒135-0002

東京都江東区住吉 2-28-36

TEL.03-3635-5500

FAX.03-3635-5547

●東京メトロ半蔵門線、都営新宿線
「住吉」駅A4出口から徒歩4分

●都バス
(東22) 錦糸町～東陽町(東京駅北口)
「住吉駅前」下車徒歩5分

(錦11) 錦糸町～築地駅

「住吉駅前」下車徒歩5分

(錦28甲) 錦糸町～東大島駅

「江東公会堂前」下車徒歩1分

* 駐車場は収容台数に限りがありますので、他の交通機関をご利用いただくようお願いいたします。